



桜塚小学校だより 9月号

平成30年(2018年)9月12日
豊中市立桜塚小学校
校長 原野 裕章



2学期が始まり、これから落ち着いて学習に取り組めるかと思っていた矢先に、台風第21号による休校となってしまいました。本当に強い勢力の台風で、大阪にも大変な被害をもたらしました。本校では、建物には被害がなかったのですが、停電により2日目も休校となりました。また、体育館横の大木の幹が、一部裂けていたのですが、早急に対応していただき、大幅に剪定していただきました。そして、これまた大雨により、育友会の「わくわくフェスティバル」も中止となってしまいました。これから運動会の練習も始まりますが、好天を願うばかりです。



修学旅行

8月30日(木) 31日(金)

2度の延期となっていた修学旅行を、ようやく実施することができました。天候を見計らいながらでしたが、活動はほぼ予定通りに行うことができました。



広島平和記念公園では、全校で折った折り鶴を、平和の子の像に捧げました。資料館では被爆者の方の体験談を聞いたり、展示物等から平和の大切さを学びました。

宿舎に着いてからは、まずお楽しみの買い物タイムです。



2日目は浜遊び、藻塩資料館見学、藻塩作り、カッター体験等で楽しみました。



お知らせ

・さくら学級の田口先生が、産休に入られました。代替として 坪野 亜矢先生に来ていただくことになりました。

・授業時数の確保について

1学期の4日間の臨時休校に続き、この2学期もすでに3日間の臨時休校になってしまいました。このような状況では、高学年において指導要領に定められている年間授業時数を満たすことができなくなる可能性も出てきました。そこで少しでも授業時数を確保するために、5・6年生については、クラブ・委員会の無い金曜日の6時間目にも授業を行うことにいたしました。

平成30年度(2018年度)全国学力・学習状況調査より

本年4月17日に6年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」における本校の分析結果について、お知らせいたします。この調査結果は、学力や学習状況の一部であり、児童の学力や学習状況、学校の教育活動等のすべてを表すものではありません。それを踏まえた上で、学校と家庭・地域が学力や学習状況に関する課題を共有し、さらに連携を深めていくことを目的として、お知らせいたします。今後も引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

結果の概要

1、教科に関する調査より

国語の正答率は、A問題で全国平均を若干下回り、B問題で若干上回り、ほぼ全国平均並みである。算数では、A問題B問題ともに全国平均を上回る正答率である。理科では、大阪府の平均を上回るものの、全国平均にはわずかに下回った。その中で国語では、目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く問題で課題が見られる。また、漢字を正しく使う問題で、無解答の児童の割合が少し高く課題である。算数B問題では、棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断する問題で課題が見られる。理科では、A区分の「エネルギー」B区分の「生命」に関する問題で課題が見られる。そして、各教科とも正答率の分布からは、二極化が見られる。

2、児童質問紙調査より

「自分には、良いところがあると思いますか」の問いに対して、肯定的に回答する児童の割合は約90%であり、この数年の経過を見ても増加している。しかし、「自分で計画を立てて勉強する」ことや、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組む」ことに課題がある。また、地域の行事への参加や、ボランティア活動への参加は、全国平均に比べて少ない。理科に関しては、正答率が全国平均並なのに対して、「理科の勉強が好き」と回答する児童の割合は、全国平均を大きく下回っている。

《まとめ》

次期学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」が求められている。本校児童においては、学習に主体的に取り組む姿勢に課題が見られる。今年度、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、研究を推進しているところである。各教科学習において、児童が主体的に課題の解決に向けて取り組む活動など、授業改善に取り組んでいきたい。